
YUIが悪と闘ったら 1 3

pokemomtyan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

YUIが悪と闘ったら13

【コード】

N3898T

【作者名】

pokemomtayan

【あらすじ】

YUI達は島に漂着する。

もしもYUIが悪と闘ったら(前書き)

感想をお願いします。

もしもYUIが悪と闘ったら

YUI達は必死に船にしがみついた。温暖な地中海で何故か嵐が突然起こり、船が転覆しそうになった。皆も水を浴びて苦しそうな表情をしていた。YUI（水を飲む。しょっぱい！）ケイト（何で嵐が突然に来るのよ！この気候でありえない！）堂本剛（敵が何かの能力者かも知れないぞ！目にも染みる。）神崎昂（それは無いですよ！変な模様の実は、二つ口にした人間は体が跡形も無く木端微塵になりますし。あ・危ない！）マストが折れて、皆に向かって落ちてきた。YUI（ハアハア。確かにそうね。敵の英雄は沼の能力者だったし、あのタコハゲ（セイフ）も覇気から見て能力者では無さそうね。）葉加瀬太郎（ヨホホホホ。私達も落ちるのは時間の問題でしょうね！あゝ死ぬ前にケンタッキーフライドキチンの皮の部分とマヨネーズの一气飲みがしたかったです！ヨホホホホ。）YUI&ケイト&堂本（だから何回も状況を読めと言ってるし、人をおちよくる態度を取るな豚怒！）葉加瀬（ヨホホホホ。豚ですか！ならば私はさしずめ、高級で上品なイベリコ豚ですね！皆さん！死ぬ前に歌いましょう叫！）葉加瀬太郎はバイオリンを取り出して演奏し始めた。神崎昂（こんな時に歌何て・・・）YUI（もう、泣きたい。違う意味で・・・）葉加瀬（ヨホホホホ。皆さん！行きませよ。ワン・ツー・スリー あゝ面倒だゝ蚊取りマットのゝ取り替えゝが面倒だゝ。風呂に入るのも面倒だゝ。生きているのが面倒だゝ。かと言って死ぬのも面倒だ。あゝ面倒だ チャゝチャラチャラチャラゝ）一同（お前は何て言う場に合いすぎ歌を歌っているんだ叫！恥を知れ！）葉加瀬（ヨホホホ。うわ！塩水が口に。あつ！気に入ってもらいましたか？今度の夏フェスで私が演奏だけではなく、歌うために書いた歌です。題して！「平成日本」という曲です。平成の人間の生き様を描いてますね。ヨホホホホ。）YUI（確かにそうだけど・・・）葉加瀬（ならば此れはどうですかね？）葉加

瀬はまたバイオリンを弾き始めた。POPな音色が聞こえた。堂本（明るそうやな？）葉加瀬（お腹ぐうぐう。食っては寝てぐうぐう。ぶくぶく太るニート達。ぶくぶく太るニート達！早く真面な人間に・・なりた〜い叫！）堂本（この状況で何を言いたいねん怒！）葉加瀬（ぶくぶく太るのはニートと私のような大食漢・・生き様は違えど・・何か共通するものを感じますね。）葉加瀬は心地良いため息をついて、お茶を飲んだ。YUI（菅が居ないけれど、この人が嫌で仕方無い泣）葉加瀬（ヨホホホホ。死ぬ前にYUIさん！ケイトさん！パンツを見せてください！）YUI&ケイト（見せるか！）葉加瀬は目頭を蹴られた。葉加瀬（此れは効きました・・手厳しいです。痛い。）YUI（目をつむっておけ怒！何もお前は言うな！）神崎昂（皆さん。此れを結んでおきましょう。）神崎は細いチエーンを皆に渡した。YUI（此れでどうしろと？）神崎（皆で腰にきつく巻きつけておけば、離れないし物語の展開的にどこかの島に漂着するのがこういう小説の筋道だからです。）皆は腰にチエーンを巻きつけた。ケイト（もう駄目よ！転覆する。）一同（うわ〜。）しかし、神崎昂は思っていた。今、コイツ等に死なれたら困る・・俺の目的は反乱もそうだが、本来は僕はEの組織の人間だからな・・）神崎は顔を横に向けて笑った。堂本（転覆や〜叫！）船は転覆した。YUI（い・・意識が遠くなつていく・・）数時間後ある島の湾岸で、その島の子供たちが遊んでいた。アフリカだろうか？灼熱の太陽がキラキラ輝いていた。子供A（な・何だ？鎖に巻かれてる人が漂着してるぞ？）子供B（危なくないか？）子供達は枝で突き合った。すると、一人の女が、目を覚ました。YUI（いい加減に・・しろ・長芋叫！）子供A&B（うわ〜起きたぞ恐いよ泣！）子供達は逃げ出した。YUI（しまった！長芋（菅直人）にキレている夢を見ていた。）YUIはケイト、神崎、葉加瀬を起こした。ケイト（何とか無事だったようね・・）神崎（頭が痛い。此処はどこだ？）葉加瀬（生きていたのですね。ヨホホホホ。）YUI（あれ？堂本さんは？いけない！逸れたんだ！）葉加瀬（堂

本さんなら大丈夫ですよ笑。YUIさんそれより・・・) YUI (何?) 葉加瀬 (生きていたので、パンツを見せてもらっても宜しいですか?) YUI (ケイト! 神崎さん! 堂本さんを探しに行こう!) 葉加瀬 (職場いじめですか・無視は堪えますね・・・) 葉加瀬は膝をついた。堂本 (おゝい。こつちや)。何処からか堂本の声がした。YUI (堂本さんの声が?) 堂本は浜辺で釣りをしていた。堂本 (とりあえず、食べる魚を釣ったから、皆で食べようや!) YUI (何で波に逸れたの?) ケイト (確か悪魔の実の能力者って泳げないんじゃないの?) 神崎 (いや・違う)。堂本 (おっと。神崎屋。それは俺に言わしてくれ。確かに某漫画の実ではそんな条件が付いている。しかし、悪魔の実と共通しているのはそこだけや。) 葉加瀬 (ヨホホホホ。私も実は体脂肪の実の能力者なんですが、幾ら運動をしてもこれが痩せないんですね。体脂肪人間ですから!) YUI (聞いてない怒!) 堂本 (もう一つのマイナス面というのが、冬場にな・・・) YUI (冬場になんですか?) 堂本 (冬場に乾燥肌が酷くなるんや)。一同 (は?) 堂本 (冬場に皮膚が乾燥して痒くなるし、だから塗り薬を塗らなあかんし夏も股間や背中が汗でむれる体質になるから、キンカンもつとかなあかんねん!) YUI (そうなんですか? 変な模様の実の効力って?) 堂本 (そうなんや。恐ろしいやろ。) YUI (間抜けだ・・・) その時、誰か人が来た。YUI (誰か来るから隠れよう)。一同は岩陰に隠れた。ケイト (先住民かしら?) その集団は槍や弓矢を持ち、葉っぱで作った服を着てあたりを散策していた。民A (村長・子供が言った、変な奴等・・・いない)。中央に座っている、ヒゲの長い白髪の老人が言った。村長 (我等・家族・友・皆絆守る。よそ者排除するしかない・・・) 民B (村長・そういや。生贄の儀式をしないとけない・・・) YUI (ま・まずい)。村長 (そう・・・でも、外部からの部外者が2日前にも流れ着いた! そいつを浜辺で燃やし! 神の生贄としてささげる!) 堂本 (こいつ等まずいな)。民A (うおー! 残りの奴等も探し出して、生贄にささげる! 我等! アケマカ族の繁

栄の為に叫！）ＹＵＩ（あ・アケマカ？）ケイト（大学時代に本で読んだけど、マダガスカルでもっとも凶暴な民族よ。）神崎（マダガスカル？そこまで流れ着いたんですか？）神崎には少し誤算だった。ＹＵＩ（しっ！誰か来る？）アケマカ族の集団（アケマカ！アケマカ！）奴等は掛け声をかけながら、木で吊るしている人間を運んでいた。ＹＵＩ（え？彼奴が？）ケイト（まさか・・・）堂本（あちゃ〜）神崎（何てことだ・・・）神崎は頭に手を置いた。菅直人（ひ〜お前等！日本の総理大臣に対して何たる無礼千万だ！離せ！）ＹＵＩ（何かやらかしたんだね。）ケイト（もう一人の人つてまさか？）ケイトは指差した。ジョニーデップ（お前等。離せ！カリブ海の海賊のジャックスパロウに向かって何てことしてくれただ！）菅直人（そうだぞ！何が生贄だ！俺様は日本では一番偉いんだぞ！こんな国の一つぐらいはつぶせるんだ叫！）村長（降ろせ！）菅とジャックは投げ出された。菅（痛た力〜ン！貴様等！此れは国際問題だぞ！）ジャック（なあ・・・少しお前等と話をしないか？）村長（黙れ！貴様等！その長芋顔の男は、村の神殿に忍び込んで祭壇の食べ物が無断で食べたあげく、巫女に対しても、お〜良く焼けている皮膚のプリンセス〜俺様は君にハートをこの灼熱の太陽に焦がされたぐらい君に夢中になった。よかつたら、俺様と中国漁船を借りて、尖閣諸島を回りませんか？と抱き着いてナンパしたろう怒！）菅（う・うるさい！人間は腹が減るし、綺麗なメスを見たらムラムラする。自然の摂理だ！俺様は悪くない！悪いのは震災や東京電力だ！）村長（黙れ！村の大画面3Dテレビで見たが、お前は原発問題に関しても言い訳ばかりだろう！国民や周りの事を考えろ！）菅（ふん！お前等、遅れている民族には先進国の優れた文明や学識の事なんて分からんだろう！お前等は裸で踊って狩りでもしてろ！）村長（火をかせ！）菅（ひ〜火だけは止める！）菅は土下座をして、水に濡れた献金を差出した。村長（それと、その白人！お前も何を村の周辺をうろろろしていたのだ？）ジャック（俺は生命の泉を探していたんだが、うっかりロンドンからフロリダに向かう途中に

嵐に巻き込まれたんだ！）村長（お前等を生贄の祭壇に連れて行き
！我が民族の神に貴様等を捧げる！覚悟せい！）菅（俺様！死にた
くないよ）泣。助けて、枝野（仙谷）細野（神崎叫！うわ）ん。）
ジャック（よく泣くおっさんだな・・・）民（さっさと歩け！）皆は
森に向かった。YUI（助けたくないけれど・・・）しかし、も
う一隻黒い船が海岸に漂着した。海賊（キャプテン！此処に宝があ
ると？）YUI（あれは確か日本で見たことある人だ？）その男は
西洋のどがった帽子を被り、サーベルを持っていた。？（最近。日
本のドラマの仕事も落ち着いたし、本業でもやるか・・・）堂本（間
違いない。能力者の覇気がある。）続

もしもYUIが悪と闘ったら(後書き)

感想をお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3898t/>

YUIが悪と闘ったら13

2011年5月19日20時10分発行